ＤＣダイワＳ＆Ｐ５００インデックス

<3469>

追加型投信／海外／株式／インデックス型
日経新聞掲載名：ＤＣＳＰ５００

第２期　2023年９月７日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式に投資し、投資成果をS&P500指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第２期末	基準価額	11,997円
	純資産総額	2,174百万円
第２期	騰落率	19.6%
	分配金	0円

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management
大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　受付時間　9：00～17：00（営業日のみ）
0120-106212
お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

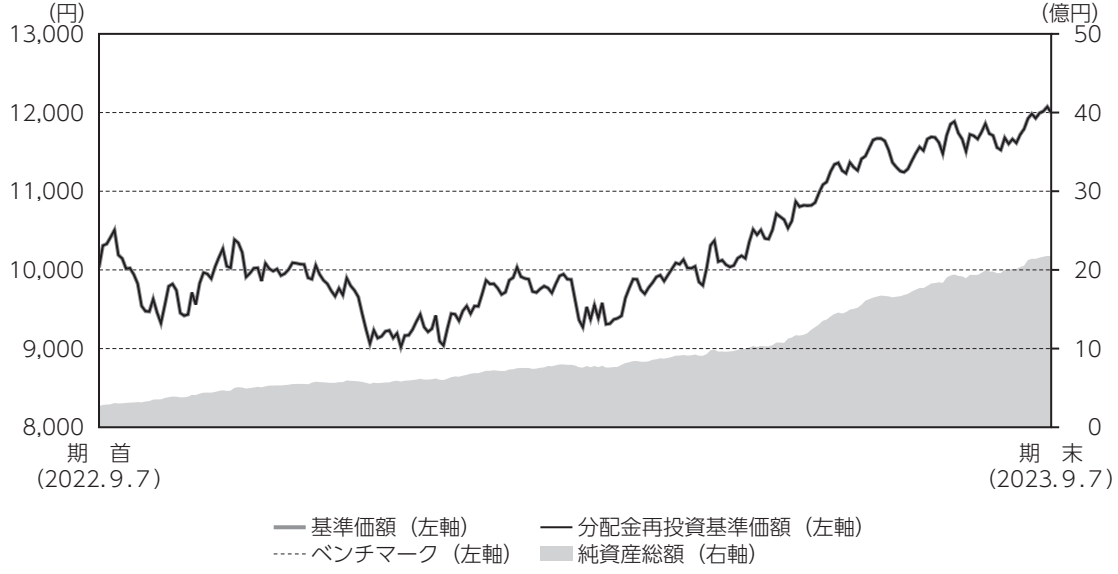
UD FONT　見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

◇TKU0346920230907◇

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法
上記のURLにアクセス　→　ファンド検索欄にファンド名を入力　→　リストから当ファンドを選択　→　運用報告書（全体版）を選択

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額およびベンチマークは、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
＊ベンチマークはS&P500指数（税引後配当込み、円ベース）です。
※ベンチマークを「S&P500指数（円ベース）」から「S&P500指数（税引後配当込み、円ベース）」に変更しました。

■基準価額・騰落率

期　首：10,029円
期　末：11,997円（分配金0円）
騰落率：19.6%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

「Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンド」を通じてベンチマークに連動させることをめざした運用を行った結果、米国株式が上昇し米ドルが対円で上昇（円安）したことからベンチマークが上昇し、当ファンドの基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1万口当りの費用の明細

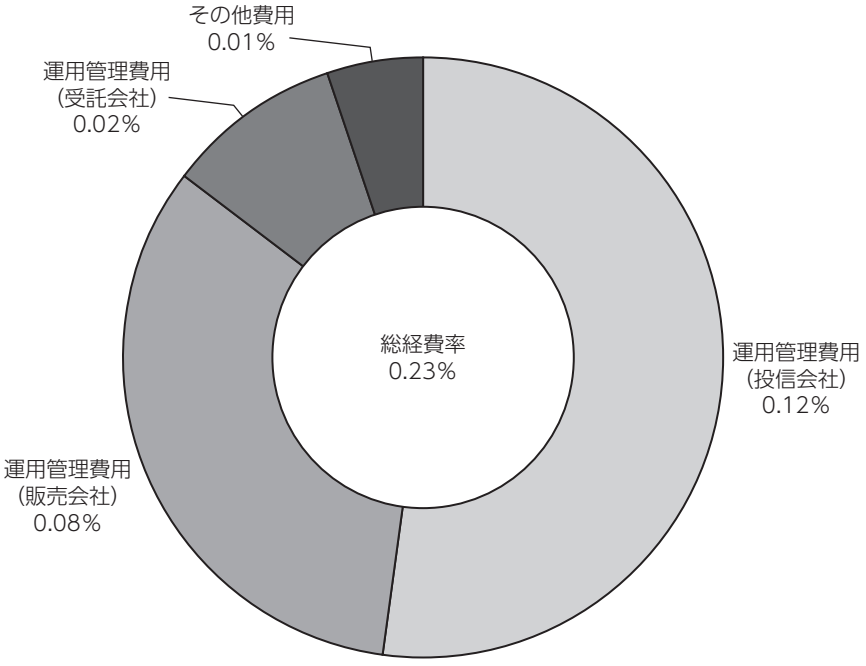
項目	当期 (2022.9.8～2023.9.7) 金額	比率	項目の概要
信託報酬	23円	0.220%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10,271円です。**
(投信会社)	(12)	(0.121)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(8)	(0.077)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0.006	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(0)	(0.003)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.003)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
有価証券取引税	0	0.001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
その他費用	1	0.012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	25	0.239	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

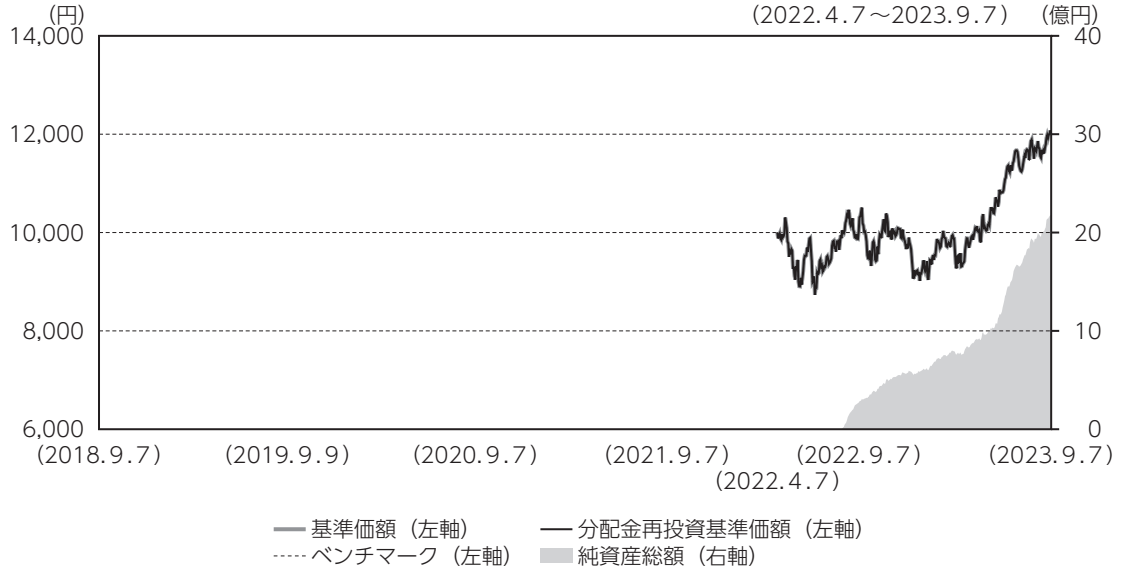
■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.23%です。



（注１）１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

最近５年間の基準価額等の推移について



（注）ベンチマークは、2022年４月７日の前営業日を10,000として指数化したものです。

		2022年４月７日 設定	2022年９月７日 決算日	2023年９月７日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,029	11,997
分配金（税込み）	(円)	－	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(％)	－	0.3	19.6
S&P500指数（税引後配当込み、円ベース）騰落率	(％)	－	0.3	19.5
純資産総額	(百万円)	1	270	2,174

(注１) 比率は小数点第１位未満を四捨五入してあります。
(注２) S&P500指数（税引後配当込み、円ベース）は、S&P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。
(注３) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注４) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

S&P500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「ＳＰＤＪＩ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Ｓ＆Ｐ®、S&P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx®およびＣＤＸ®は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「Ｓ＆Ｐ」）の商標です。Dow Jones®は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはＳＰＤＪＩに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ＤＣダイワＳ＆Ｐ５００インデックスは、ＳＰＤＪＩ、Dow Jones、Ｓ＆Ｐ、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

投資環境について （2022.9.8～2023.9.7）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国の予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、さらに企業業績見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、2022年10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、2022年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。２月から３月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、ＦＲＢによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。４月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。５月下旬以降は、ＡＩ（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。８月に入ると、長期金利が上昇したことや、ＦＲＢ高官発言への警戒感が高まったこと、原油価格の上昇を受けたインフレ懸念の高まりなどから、当作成期末にかけて株価は軟調な推移となりました。

■為替相場

為替相場は、円安米ドル高となりました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2022年10月にかけて、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、金融政策の相違が明確となって円安米ドル高が進行しました。11月に入ると、インフレ率の低下期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安に転じました。12月には、日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識され、日本の長期金利が大きく上昇するとともに円高米ドル安が進行しました。2023年２月は、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇したことで、円安米ドル高に転じて推移しました。３月は欧米の信用不安により円高に推移しましたが、４月から当作成期末にかけては、過度な信用不安の後退や米国の金利が上昇したことなどを受けて、円安米ドル高に推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

主として「Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンド」の受益証券に投資します。

■Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンド

主として、米国の株式（ＤＲ（預託証券）を含む。）に投資し、投資成果をベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行うことを基本とします。また、効率性の観点からS&P500指数との連動をめざすＥＴＦ（上場投資信託証券）や先物にも投資します。

ポートフォリオについて　(2022.9.8～2023.9.7)

■当ファンド

「Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンド」の受益証券への投資をほぼ100%行いました。

■Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンド

株式組入比率（ＤＲ（預託証券）、ＥＴＦ（上場投資信託証券）、株価指数先物、リートを含む。）は、当作成期を通じて原則として100%前後で運用を行いました。

ポートフォリオ構築にあたっては、S&P500指数採用銘柄に投資し、S&P500指数に連動するＥＴＦも組み入れることにより、S&P500指数との連動性を維持するように運用を行いました。また、効率性の観点から、S&P500指数に連動する株価指数先物も利用しました。

＊マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

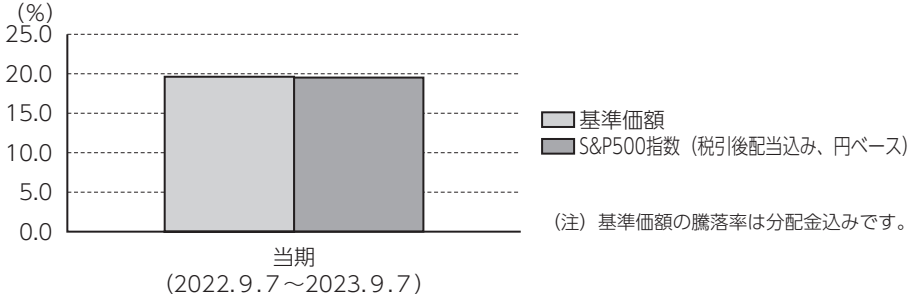
組入ファンド	ベンチマーク
Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンド	S&P500指数（税引後配当込み、円ベース）

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は19.5%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は19.6%となりました。

保管費用等のコスト負担、組み入れている株式ポートフォリオ（ＤＲ（預託証券）、ＥＴＦ（上場投資信託証券）、株価指数先物、リートを含む。）とベンチマークとの騰落率の差異、ベンチマークとファンドの為替評価基準のずれが、かい離要因としてあげられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



＊ベンチマークはS&P500指数（税引後配当込み、円ベース）です。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		当期 2022年９月８日 ～2023年９月７日
当期分配金（税込み）（円）		**－**
対基準価額比率	(%)	－
当期の収益	(円)	－
当期の収益以外	(円)	－
翌期繰越分配対象額	(円)	1,996

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

今後の運用方針

■当ファンド

主として「Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンド」の受益証券に投資します。

■Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンド

主として、米国の株式（ＤＲ（預託証券）を含む。）に投資し、投資成果をベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行うことを基本とします。また、効率性の観点からS&P500指数との連動をめざすＥＴＦ（上場投資信託証券）や株価指数先物にも投資します。

お知らせ

■ベンチマークの変更について

当ファンドおよび当ファンドの主要投資対象である「Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンド」のベンチマークとしている株価指数を、以下の通り配当を含む株価指数に変更しました。

変更前：S&P500指数（円ベース）

変更後：S&P500指数（配当込み、円ベース）

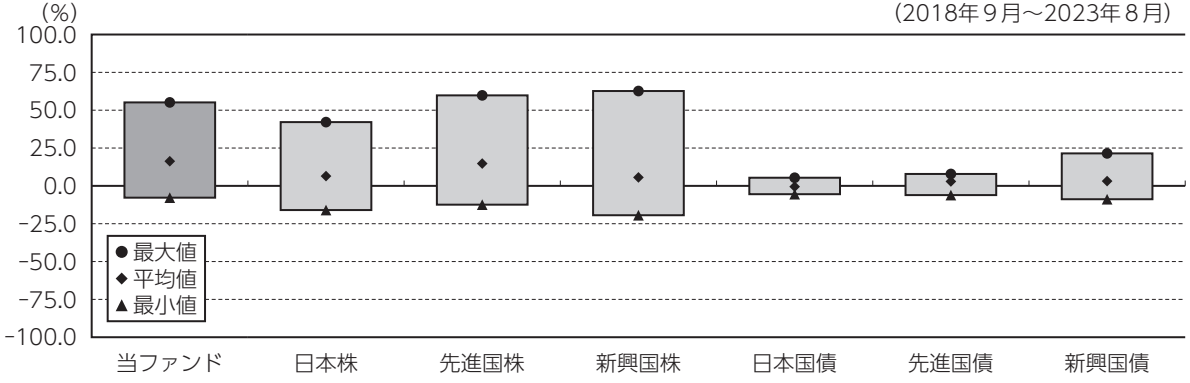
■信託報酬率の引き下げについて

2023年９月30日付で、信託報酬率（税抜き）を年率0.2%から年率0.18%に引き下げる予定です。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2022年４月７日）	
運用方針	投資成果をS&P500指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンドの受益証券
	Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンド	イ．米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。） ロ．米国の企業のＤＲ（預託証券） ハ．米国株式の指数との連動をめざすＥＴＦ（上場投資信託証券）
マザーファンドの運用方法	①主として、米国の株式（ＤＲを含みます。）（※）に投資し、投資成果をS&P500指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。 ※効率性の観点から米国株式の指数との連動をめざすＥＴＦに投資する場合があります。 ②運用の効率化を図るため、株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、株式等の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最　大　値	55.1	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平　均　値	16.3	6.5	14.8	5.6	△0.5	2.9	3.2
最　小　値	△7.8	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去５年間における年間騰落率（各月末における直近１年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。
※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。
※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
※ファンドの年間騰落率において、過去５年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。
①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。
※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
※資産クラスについて
日本株……配当込みＴＯＰＩＸ
先進国株……ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株……ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債……ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債……ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債……ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について
●配当込みＴＯＰＩＸの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●ＭＳＣＩコクサイ・インデックスおよびＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、ＭＳＣＩ Inc.（「ＭＳＣＩ」）が開発した指数です。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html）●ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●ＦＴＳＥ世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

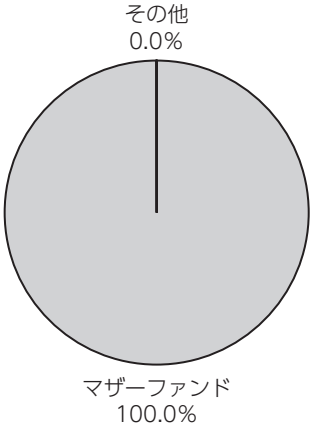
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

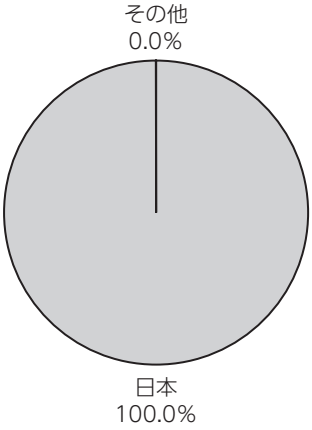
■組入ファンド等

	比　率
Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンド	100.0%
その他	0.0

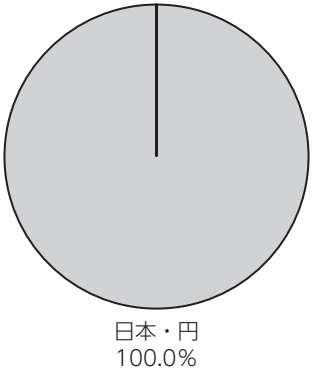
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注１）上記データは2023年９月７日現在のものです。
（注２）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注３）国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位３ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項　　目	当　期　末
	2023年９月７日
純資産総額	2,174,568,251円
受益権総口数	1,812,666,971口
１万口当り基準価額	11,997円

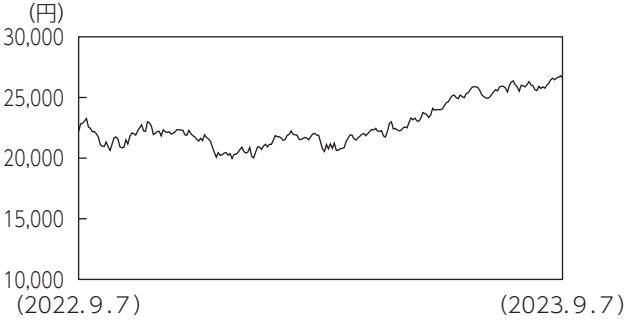
＊当期中における追加設定元本額は1,777,700,643円、同解約元本額は234,853,070円です。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆Ｓ＆Ｐ５００インデックス・マザーファンド（作成対象期間　2022年９月８日～2023年９月７日）

■基準価額の推移



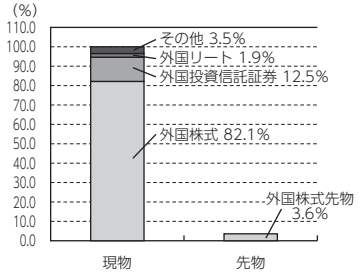
■１万口当りの費用の明細

項　　目	
売買委託手数料	2円
（株式）	(1)
（先物・オプション）	(0)
（投資信託受益証券）	(1)
（投資証券）	(0)
有価証券取引税	0
（株式）	(0)
（投資信託受益証券）	(0)
（投資証券）	(0)
その他費用	2
（保管費用）	(2)
（その他）	(0)
合　　計	3

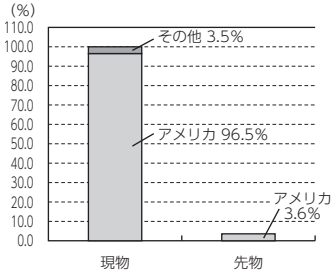
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
ISHARES CORE S&P 500 ETF	アメリカ・ドル	12.5%
APPLE INC	アメリカ・ドル	6.1
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	5.6
S&P500 EMINI SEP 23 買	アメリカ・ドル	3.6
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.7
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	2.6
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	1.8
ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	1.6
TESLA INC	アメリカ・ドル	1.5
META PLATFORMS INC CLASS A	アメリカ・ドル	1.5
組入銘柄数	505銘柄（先物含む）	

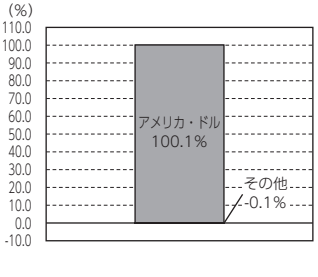
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注１）基準価額の推移、１万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。
（注２）１万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。
（注３）組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注４）国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
（注５）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。